

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成23年10月27日 (2011.10.27)

【公表番号】特表2010-539850(P2010-539850A)

【公表日】平成22年12月16日 (2010.12.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-050

【出願番号】特願2010-525813(P2010-525813)

【国際特許分類】

H 0 4 W 36/14 (2009.01)

H 0 4 W 88/06 (2009.01)

H 0 4 W 4/06 (2009.01)

H 0 4 W 48/16 (2009.01)

H 0 4 W 28/14 (2009.01)

H 0 4 H 20/57 (2008.01)

H 0 4 H 60/27 (2008.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 3 0 9

H 0 4 Q 7/00 6 5 3

H 0 4 Q 7/00 1 2 7

H 0 4 Q 7/00 4 0 4

H 0 4 Q 7/00 2 7 3

H 0 4 H 20/57

H 0 4 H 60/27

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月6日 (2011.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のネットワークからコンテンツを受信し、

ハンドオーバを実行し、

第 2 のネットワークからコンテンツを受信し、

前記第 1 のネットワークからストリーミングされたコンテンツと前記第 2 のネットワークからストリーミングされたコンテンツとの間の遅延差を測定し、

前記遅延差に対応できるバッファサイズを選択し、

いずれかの重複したコンテンツのパケットを破棄することを有するコンテンツ配信方法

。

【請求項 2】

前記第 1 のネットワークは、ハンドヘルド装置用のデジタルビデオ放送ネットワークであり、

前記第 2 のネットワークは、無線ローカルエリアネットワークであり、

前記ハンドオーバは、ユーザ入力に応じて実行され、前記第 2 のネットワークのサービスエリアでの良好な信号品質と良好な信号強度とのうち 1 つに基づく、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 1 のネットワークから受信したコンテンツをバッファに格納し、

前記第 2 のネットワークから受信したコンテンツを前記バッファに格納することを更に有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

第 1 のネットワークからコンテンツを受信する手段と、

ハンドオーバーを実行する手段と、

第 2 のネットワークからコンテンツを受信する手段と、

前記第 1 のネットワークからストリーミングされたコンテンツと前記第 2 のネットワークからストリーミングされたコンテンツとの間の遅延差を測定する手段と、

前記遅延差に対応できるバッファサイズを選択する手段と、

いずれかの重複したコンテンツのパケットを破棄する手段と

を有するコンテンツ配信装置。

【請求項 5】

前記第 1 のネットワークは、ハンドヘルド装置用のデジタルビデオ放送ネットワークであり、

前記第 2 のネットワークは、無線ローカルエリアネットワークであり、

前記ハンドオーバーは、ユーザ入力に応じて実行され、前記第 2 のネットワークのサービスエリアでの良好な信号品質と良好な信号強度とのうち 1 つに基づく、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

第 1 のネットワークからコンテンツを受信し、

ハンドオーバーを実行し、

第 2 のネットワークからコンテンツを受信し、

いずれかのコンテンツが欠如しているか否かを決定し、

前記第 1 のネットワークからストリーミングされたコンテンツと前記第 2 のネットワークからストリーミングされたコンテンツとの間の遅延差を測定し、

前記遅延差に対応できるバッファサイズを選択し、

前記欠如したコンテンツを要求することを有するコンテンツ配信方法。

【請求項 7】

前記第 1 のネットワークは、無線ローカルエリアネットワークであり、

前記第 2 のネットワークは、ハンドヘルド装置用のデジタルビデオ放送ネットワークであり、

前記ハンドオーバーは、ユーザ入力に応じて実行され、前記第 2 のネットワークのサービスエリアでの良好な信号品質と良好な信号強度とのうち 1 つに基づく、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記第 1 のネットワークから受信したコンテンツをバッファに格納し、

前記第 2 のネットワークから受信したコンテンツを前記バッファに格納することを更に有する、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

前記第 1 のネットワークから受信したコンテンツを第 1 のバッファに格納し、

前記第 2 のネットワークから受信したコンテンツを第 2 のバッファに格納することを更に有する、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 10】

第 1 のネットワークからコンテンツを受信する手段と、

ハンドオーバーを実行する手段と、

第 2 のネットワークからコンテンツを受信する手段と、

前記第 1 のネットワークからストリーミングされたコンテンツと前記第 2 のネットワークからストリーミングされたコンテンツとの間の遅延差を測定する手段と、

前記遅延差に対応できるバッファサイズを選択する手段と、

いずれかのコンテンツが欠如しているか否かを決定する手段と、
前記欠如したコンテンツを要求する手段と
を有するコンテンツ配信装置。

【請求項 11】

前記第1のネットワークから受信したコンテンツをバッファに格納する手段と、
前記第2のネットワークから受信したコンテンツを前記バッファに格納する手段と
を更に有する、請求項10に記載の装置。

【請求項 12】

前記第1のネットワークから受信したコンテンツを第1のバッファに格納する手段と、
前記第2のネットワークから受信したコンテンツを第2のバッファに格納する手段と
を更に有する、請求項10に記載の装置。

【請求項 13】

前記第1のネットワークは、無線ローカルエリアネットワークであり、
前記第2のネットワークは、ハンドヘルド装置用のデジタルビデオ放送ネットワークで
あり、
前記ハンドオーバは、ユーザ入力に応じて実行され、前記第2のネットワークのサービ
スエリアでの良好な信号品質と良好な信号強度とのうち1つに基づく、請求項10に記載
の装置。